



横浜市議員

# かわら版瀬谷 花上きよし市政レポート

2023年6月(第507号)

花上きよし事務所 ☎(363)9749  
瀬谷区三ツ境174-37

## 市の町内会連合会が山中市長に意見書を提出 「特別市」の実現に向けた動きが活発化!

4月26日(水)に、横浜市町内会連合会(市連会)の網代会長から山中市長に「特別市実現に向けた意見書」が提出されました。

特別市の実現は私が横浜市議初当選以来、大都市制度の改革の大きなテーマとして取り組んで来ました。

これまでに3冊の本を出版し地方自治の改革を世に問うて来ました。

特に「横浜の挑戦」を出版後、当時の岩国哲人衆議院議員が国会の内閣委員会の質疑で私の本をテーマに取り上げて頂き、国政でもしっかりと改革に取り組むよう呼びかけました。

以来、全国の大都市では特別市を目指す動きが広がりを見せ、政令指定都市の市長会では川崎、相模原などが横浜市と足並みを揃え、国への働きかけを強めています。

横浜市では、市長や市議会が積極的に国への働きかけており、一方市内の自治会町内会の方々も呼応して実現に向けた意見書を市長に提出するなど、地域ぐるみの活動に発展しています。

以下、今回出された意見書の概要は次の通りです。

### 「特別市」の実現に向けた取り組みの推進について

大都市横浜においても、少子高齢化・人口減少の局面を迎えていく中で、横浜市の魅力を一層引き出し、市民と市が一体となってまちづくりを進めていくことの重要性が高まっています。

そして、特別市の実現には国への法制化のはたらきかけや県、県内市町村と丁寧に調整を進めていく必要があること、また何より市民に正しく理解いただき、共感と協力を得ることも必要と感じました。

私たちが今回の意見交換会を踏まえ、特別市の選択が可能となるよう、それぞれの地域で理解の促進に努めてまいりますので、横浜市においても特別市の実現に向け機運醸成を図るため、市民の暮らしがどのように良くなるのかなど、多くの市民に特別市の内容と意義が伝わるよう、説明会の開催など市民への広報・周知を強力に進めていただきたいと思います。

横浜が将来にわたって住みたいまち、住み続けたいまちとなるよう、ともに取り組んで行きましょう。

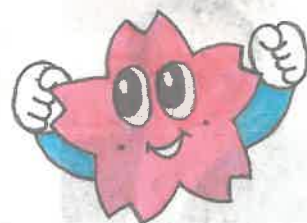


▲花上市議の著書・地方分権三部作



# 花上よし市政レポート

2023年6月 (第507号)



## 山下公園周辺でワールドトライアスロン・パラトライアスロン 大会 「国際都市ヨコハマ」の魅力発信

横浜市議員 花上 喜代志



▲組織委員会会長の山中市長と

「ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」が5月13日と14日、赤レンガ倉庫や山下公園周辺で開催され、市トライアスロン会長として出席しました。

2009年から続く世界最高峰の大会は競技の普及・発展に加え、運営面も高く評価され、「国際都市ヨコハマ」の魅力発信に大きく貢献しています。

開港150周年事業として09年に行われた「トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会」(当時)。

12年からはパラトライアスロンも始まり、19年は2日間で延べ46万人が来場するなど大いに賑わいました。

コロナ禍の21年にはバブル形成など対策を徹底。その運営形態は横浜モデルとして称賛されました。

### きれいな海をPR

私は05年から大会招致に奔走しました。目的の一つが、きれいな横浜の海をアピールすること。

横浜市は高度経済成長期に川や海の水質が悪化しました。その後の公共下水道整備で改善したにも関わらず、「横浜の海は汚い」といった誤ったイメージは残ったまま、招致に向けては水質改善のデータを示したほか、安全性をPRするために私自身が山下公園の前の海を泳ぎました。



▲メダリストにメダルを授与する花上会長

### トライアスロン横浜大会を次世代に継承(キッズプログラム)

また、13回目の今回の大会でも、私がメダリストへのメダル授与を行い、選手の栄誉を讃えました。

今年はアスリートが熱戦を繰り広げるとともに、子どもたちの参画を促すキッズプログラムも企画されました。

世界から高く評価されている大会を次世代に継承するため、私は横浜市トライアスロン協会の会長として今後も活動していきます。